

新年のご挨拶

東京都遺族連合会会長 宇田川 剣雄

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。昨年中は、遺族連合会の活動に多大なご支援ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年は、一月に天皇・皇后両陛下がフィリピンを公式訪問し、戦没者を追悼し、平和の祈りを捧げられました。七月の参議院選挙においては、日本遺族会の水落会長が当選され、遺族会の活動を力強く先導していただけることになりました。全国・東京都戦没者追悼式においては、次世代に繋ぐために、若年者の追悼のことばや、代表献花が行われました。また、十二月十日には、連合会青年部が発足しました。

一方では、各地において地震や台風の大被害に見舞われました。対外的には、東アジアにおける情勢の緊張化が進んでおり、国民は不安と苛立ちを覚えています。世界各地でもいまだ紛争が絶えません。

わが国では、自衛隊の海外派遣や憲法改正の議論が行われておりますが、戦争の悲惨さと平和の尊さを一番知っている遺族会は「二度と戦争をしない、させない」との強い決意のもと、恒久平和に向けて先頭に立って活動を続けなければなりません。

遺族会は、今、遺族の高齢化と戦争を知らない世代への交代が顕著となり、遺族会会員が減少の一途をたどっております。そのため、組織の強化と財政基盤の確立が大きな課題となっております。

こうした情勢の中にあっても、国難に殉じ今日の平和と繁栄の礎となった英霊に対する慰霊追悼と恒久平和を目指した遺族会活動を力強く展開していかなければなりません。

このためには、これからの遺族会を担う戦没者の孫・曾孫など次世代の理解を深め、発足した青年部の組織の拡充を図っていく必要があります。

連合会としては、今後とも、円滑かつ積極的な事業運営の推進に努めて参りますが、皆様におかれましては、後継者の育成にご尽力いただくとともに、地元や本連合会の諸行事に積極的に参画され、全会員が一丸となって諸課題に取り組んでいただけますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝ご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶と致します。